2024 年度 藤田医科大学大学院医学研究科
専門職大学院 教育課程連携協議会 議事録

日　時：2024 年 12 月 6 日（金）15 時 00 分～15 時 36 分
場　所：藤田医科大学医学部長室より Zoom によるハイブリッド開催
出席者：岩田仲生、小松本悟、恵美宣彦、小森義之、近藤良伸、保科豊次(陪席)
欠席者：佐藤大介

配付資料
1.藤田医科大学専門職大学院 教育課程連携協議会 構成員名簿
2.藤田医科大学専門職大学院教育課程連携協議会規程
3.病院経営学・管理学（専門職大学院）専攻 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書(抜粋)
4.2023 年度入学者（１期生）課程修了報告
5.2024 年度入学者（2 期生）一覧および 2025 年度入学予定者（3 期生）一覧
6.藤田医科大学専門職大学院 MHHA 説明資料_活動実績報告 2024
7.専門職大学院パンフレット

議　事　概　要

藤田医科大学専門職大学院教育課程連携協議会規程第 4 条により、岩田仲生医学研究科長の指名により小松本悟教授が議長となり、同第 2 条に規定する構成員の過半数が出席し、本日の定足数に達したことを確認した上、開会を宣した。

《報告・協議事項》

１．協議会構成員

藤田医科大学専門職大学院教育課程連携協議会委員へ次年度再任の意思確認を行った。今後、差支えがなければ継続更新で進めていく。

（任期：2025 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

２．病院経営学・管理学（専門職大学院）専攻【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書(抜粋)

履行状況等は文部科学省へ報告済み。

３．2023 年度入学者（１期生）課程修了報告

＜委員からの質問と回答＞

「１期生の課程修了報告は、発表会等があったのか。」

「審査の中で３回ほど発表を行い、都度変更を加えて合格をさせた。教授会でも認定されている。」

「課程修了報告発表会の冊子はあるのか。」
「PDF の形で資料をまとめ、受講生に配布済みである。」

４．2024 年度入学者（2 期生）一覧および 2025 年度入学予定者（3 期生）一覧
２期生については、入学後半年以上が過ぎたが大変好評であり、良い成果を挙げている。

５．2024 年度活動実績報告（藤田医科大学専門職大学院 MHHA 説明資料）
①病院経営専門職大学院について
病院を背負っていく幹部医師を対象としており、メディアでも注目を集めている。授業では、講師が記載したホワイトボードをスライド共有機能で共有したり、グループディスカッションを多く用いたり、工夫を凝らしてゴールへ導いている。課題研究については、自院が生き残るために、ストラテジーを掲げて進めてほしいという思いがある。

②カリキュラムフィードバック
全体的に前向きな意見が多かった。個人向けの意見については、本人に伝えてある。
＜委員からの質問と回答＞
「ケースメソッドが良かったという意見があるが、各講義で行っていたのか。」
「ケースメソッドは、実際にあった病院のケースをシナリオにおこして事前に院生に配り、どのように改善するべきか、総合的な意見をグループでまとめて解決していく。」
「大変興味深く、実際の例を題材にすることで様々な勉強をすることができる。運営や医療事故等、様々なパターンを入れると尚良いと感じた。」
「電子カルテの導入等、今後ぶつかる可能性のある題材も用いている。博士課程になるのであれば、ケースメソッドをたたき台にして、レベルアップさせていきたい。」
「災害時の各立ち位置や情報共有についてはどうなっているか。」
「論理的な病院特有の BCP について、２コマ程講義を行っている。」
「私は医療行政を行っているため、地域医療構想や医療介護については、どの程度展開されていたのか教えてほしい。」
「介護や医療等の講義も４コマ程行った上で、医師会との関係の在り方や国の進めている地域医療は何かを教えている。」

６．次年度の活動予定
自院の経営改善を図りたい意欲のある受講生に向け教育および広報活動を継続していく。

以上、予定されていた議事は終了し、議長は 15 時 36 分閉会を告げた。

文責：大学院学務課